

速報版



遠賀川集中豪雨災害

平成15年7月18日～19日出水(梅雨前線)

国土交通省 九州地方整備局
遠賀川河川事務所

気象・降雨概要

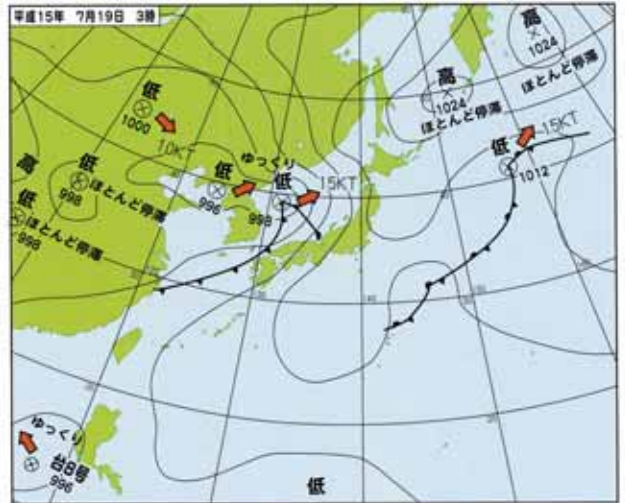
18日午後、対馬海峡付近に停滞していた梅雨前線に向かって南から湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。

18日19時に北九州市小倉南区頂吉で1時間に49ミリ、飯塚33ミリなど筑豊、北九州、京築で激しい雨となった。

その後も東シナ海で発達した雨雲が次々と北部九州に流れ込み、雷を伴った激しい雨が降り、筑豊地方でも、19日3時に飯塚で1937年の気象台観測開始以来第1位となる1時間に80ミリの猛烈な雨を記録した。

18日の降り始めから19日24時までに、飯塚市の川島雨量観測所の最大1時間雨量75ミリ、最大3時間雨量188ミリ、総雨量313ミリ、嘉穂郡筑穂町の内野雨量観測所の最大1時間雨量54ミリ、最大3時間雨量112ミリ、総雨量178ミリ、田川郡香春町の採銅所雨量観測所の最大1時間雨量58ミリ、最大3時間雨量237ミリ、総雨量237ミリ（いずれも国土交通省所管観測所）を記録した。

今回の雨の特徴は、福岡県太宰府市から北九州市小倉南区へかけての帯状の範囲のみに雨雲が流れ込み、筑豊地方では飯塚観測所（福岡管区気象台）においておよそ7月の1ヶ月降雨量にあたる雨が6時間で降った点が挙げられる。



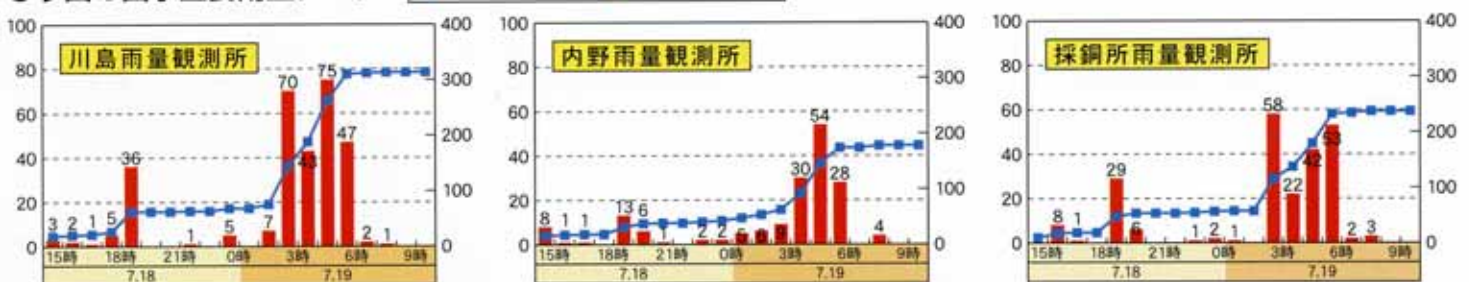
地上天気図（平成15年7月19日3時） 福岡管区気象台提供

18日00時から19日09時までの総雨量（福岡管区気象台）

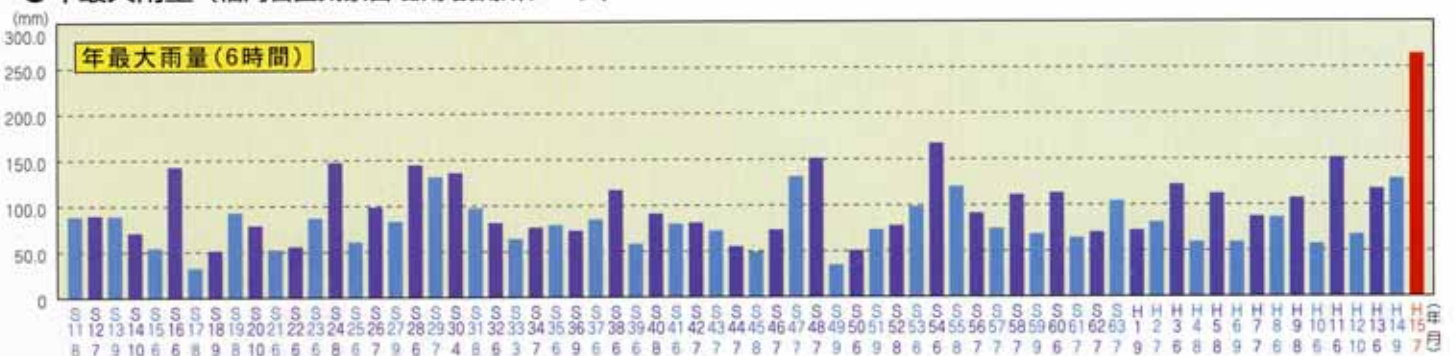


対象観測所位置図 国土交通省 遠賀川河川事務所（平成15年7月現在）

●今回の出水主要雨量データ



●年最大雨量（福岡管区気象台 飯塚観測所データ）

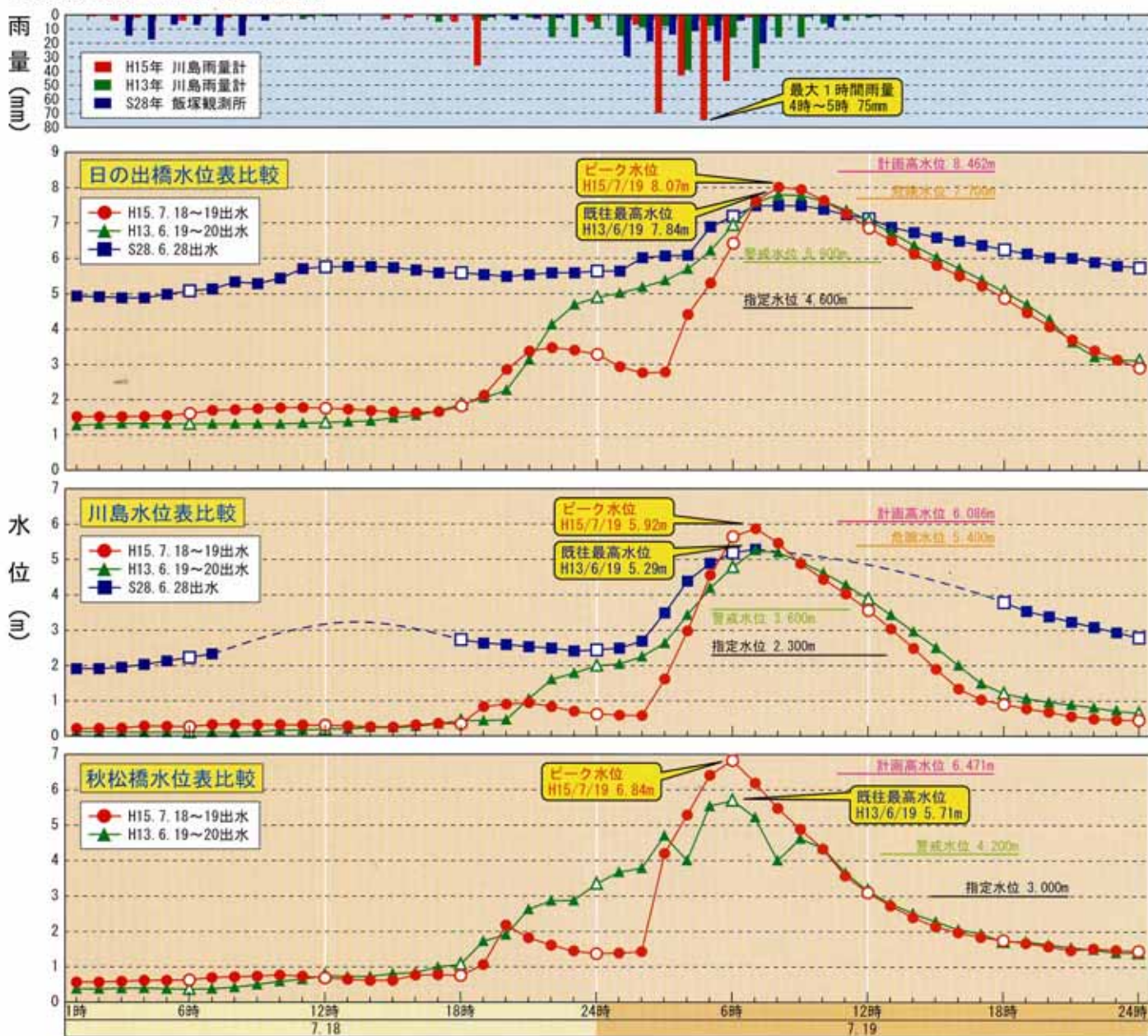


出水概要

遠賀川の支川穂波川の秋松橋水位観測所において19日6時00分に**6.84 m (ピーク水位)**となった。この水位は平成13年6月19日～20日出水時の5.71 m (既往最高水位)を遙かに超え、計画高水位 (H. W. L) 6.471 m を約40 cm 上回った。また、代表観測所である川島水位観測所において19日6時50分に**5.92 m (ピーク水位)**、日の出橋水位観測所において19日8時20分に**8.07 m (ピーク水位)**となり、いずれも、平成13年6月19日～20日出水時に記録した既往最高水位を遙かに超え、危険水位も約40～50 cm 上回った。

今回の特徴としては、3～4時間の短時間に時間雨量40ミリ以上の非常に激しい雨が断続的に降り続き、昭和28年6月、平成13年6月出水時と違う短時間での急激な水位上昇が大出水をおこした要因である。特に、秋松橋水位観測所で19日2時00分～3時00分の1時間に1.44 m → 4.21 m と約2.8 m の水位上昇、川島水位観測所で4時00分～5時00分に2.99 m → 4.57 m、日の出橋水位観測所で3時00分～4時00分に2.79 m → 4.42 m といずれも約1.6 m 水位が上昇した。

●実績降雨と河川水位の比較



●遠賀川事務所管内水位観測所既往最高水位との比較

水系名	河川名	観測所名	種類	零点高 (m)	指定水位 (m)	警戒水位 (m)	危険水位 (m)	計画水位 (m)	既往最高水位		平成15年7月19日出水		既往最高水位との比較 (m)		
									年月日	水位 (m)	日	時分	ピーク水位 (m)	比較 (m)	
遠賀川	遠賀川	川島	テレメータ	10.737	2.300	3.600	5.400	6.086	H13.6.19	5.230	19日	6:50	5.92	0.690	更新
		勘六橋	テレメータ	3.292	3.800	5.200	—	7.776	H13.6.20	6.850	19日	8:00	7.14	0.290	更新
		日の出橋	テレメータ	2.000	4.600	5.900	7.700	8.462	H13.6.20	7.800	19日	8:20	8.07	0.270	更新
		唐熊	テレメータ	0.700	—	—	—	7.515	H13.6.20	7.330	19日	9:00	7.43	0.100	更新
	彦山川	中島	テレメータ	3.563	3.700	5.000	—	7.797	H13.6.20	6.920	19日	7:50	7.16	0.240	更新
	穂波川	秋松橋	テレメータ	13.679	3.000	4.200	—	6.471	H13.6.19	5.700	19日	6:00	6.84	1.140	更新
金辺川	夏吉	テレメータ	15.851	—	—	—	4.989	S59.7.16	3.880	19日	6:20	4.82	0.940	更新	

※遠賀川河川事務所全14水位観測所の内、今回の出水にて上記の7観測所にて過去最高水位を記録!

出水状況

凡例	
	田畑浸水区域
	家屋浸水区域
① - ⑩	浸水状況写真番号
	飯塚市 浸水市町村

1:60,000



① 穎田町勢田地区



② 飯塚市目尾地区



③ 飯塚市吉原町



④ 飯塚市吉原町



⑤ 飯塚市柏の森地区



⑥ 飯塚市東町



⑦ 飯塚市吉原町



⑧ 飯塚市東徳前地区



⑨ 飯塚市徳前地区



⑩ 穂波町枝国地区

新聞記事

西日本新聞 H15.7.20(日)

豪雨 遠賀川水位にピリピリ 飯塚直方 濁水押し寄せる

「悪夢見たような」 濁水

福岡県直方市と飯塚市の間を流れる遠賀川。20日朝、大雨の影響で水位が急上昇し、濁水が押し寄せている。沿道には警戒が厳しく、住民も不安げな様子だ。

直方市では、遠賀川の水位が警戒水位を大幅に超え、一部の地区で浸水被害が出ている。住民からは「悪夢を見たような」といった声も聞かれる。濁った水が押し寄せる様子に、沿道の住民は警戒を強めている。

飯塚市でも、遠賀川の水位が急上昇し、一部の地区で浸水被害が出ている。沿道には警戒が厳しく、住民も不安げな様子だ。

被害拡大させた要因は、明星寺川はらんりと幹線下水道容量超え

明星寺川はらんりとは、遠賀川に注ぐ支流の川。大雨の影響で、明星寺川の水位が急上昇し、幹線下水道の容量を超えて、遠賀川に濁水を押し寄せている。

この結果、遠賀川の水位が急上昇し、沿道に浸水被害が出ている。沿道には警戒が厳しく、住民も不安げな様子だ。



豪雨 飯塚中心街襲う



「商品は全滅に近い」 崩落とす商店主ら

飯塚市の中心街が豪雨の影響で完全に水没。商店主らは商品を失ったと報告している。一部の建物も崩落しているという。沿道には警戒が厳しく、住民も不安げな様子だ。

中心街の商店主らは、商品を失ったと報告している。一部の建物も崩落しているという。沿道には警戒が厳しく、住民も不安げな様子だ。

浸水被害相次ぐ 遠賀川水位急上昇

読売新聞 H15.7.20(日)

西日本新聞(夕刊) H15.7.19(土)



お問い合わせ

国土交通省
九州地方整備局
遠賀川河川事務所 調査課

〒822-0013 直方市溝堀1丁目1-1 TEL 0949-22-1830 FAX 0949-22-2859
ホームページアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/> e-mailアドレス onga@qsr.mlit.go.jp

本紙は古紙100%配合の再生紙を使用しています。